



2024年8月9日

各位

会社名 第一生命ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 菊田 徹也  
(コード番号:8750 東証プライム)  
問合せ先 経営企画ユニット IRグループ  
(TEL 03-3216-1222(代))

---

---

第一生命ホールディングス株式会社  
2025年3月期 第1四半期決算概要資料

---

---

# 2025年3月期 第1四半期 決算報告

2024年8月9日

第一生命ホールディングス株式会社



**Dai-ichi Life**  
Holdings

By your side, for life

● 本日のポイント

P.3

※グループ各社のデータ等につきましては、当社HPにて掲載いたします。

<https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/index.html>

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2024/6末	161.07円	172.33円	107.00円
2024/3末	151.41円	163.24円	98.61円
2023/12末	141.83円	157.12円	96.94円
2023/6末	144.99円	157.60円	95.77円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
NFL	ネオファースト生命		100%	
ipet	アイペット		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	
非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)				
AMO	アセットマネジメントOne		49% (議決権) 30% (経済持分)	4-3月
VTX	バーテックス・インベストメント・ソリューションズ		100%	
BO	ベネフィット・ワン		100%	
その他				
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	1-12月

## 連結業績

### グループ修正利益は対前年同期、対期初予想ともに上振れ。順調な進捗

グループ修正利益

1,444億円

▶ 前年同期比+75%(通期予想進捗:42%)

**国内** DL(主に株式売却前倒し)・DFL(円安に伴う上振れ)が高進捗。前年同期比+83%増

**海外** PLCでは保険金支払いが想定より少なく、利益が上振れるなど概ね順調に進捗  
海外全体で前年同期比+34%増

## 新契約業績

### DLの販売量回復を背景に新契約価値が改善。TALも増収でグループ新契約ANPは大幅増加

グループ新契約価値  
(VNB)

国内3社(概算値)  
約300億円

▶ 前年同期比+約280億円(通期予想進捗率:38%)

DLで新商品投入効果により販売量が増加、VNBも回復傾向。DFLは販売ペース一服も引き続き堅調な進捗

新契約年換算保険料  
(ANP)

1,751億円

▶ 前年同期比+42% ※為替影響除く

DLの新契約改善に加え、TALで大型団体保険の獲得があったほか、PLCも定額年金を中心に堅調な販売

## 経済価値

### ESRは金利上昇に伴う大量解約リスク増加を要因に低下。EVはほぼ横ばい

ESR  
(概算値)

約214%

▶ 前年度末比  $\Delta$ 12%

金利上昇に伴う大量解約リスクの増加や、株主還元に伴う資本の減少等により低下

EV  
(概算値)

約8.8兆円

▶ 前年度末比  $\Delta$ 1%

円安等に伴う資産の増加はあったものの、事業費の増加や株主還元により相殺され、ほぼ横ばい

## トピック

### 8月初の大幅株安・円高を織り込んだ場合でも、グループ修正利益の通期見通しは変更しない

▶ 1Qの上振れ等もあり、8月初の大幅株安・円高局面においても、グループ修正利益の通期予想は変更しない

▶ 一方で、大幅株安・円高局面では、ESR/EVともに資産価格の下落により減少するものの、ESRは200%以上を維持する見込み

# 決算のポイント – グループ修正利益（国内・海外別進捗状況）

## ▶ 国内事業: 金融市場環境の追い風を受け高い進捗

DLは、国内株式売却が計画比で早期に進捗し売却益が早いタイミングで計上されていることが高進捗の主な要因。その他は期初計画に対してインライン。通期見通しに変更はない  
DFLは、円安による利益の押上げで通期予想の70%に迫る水準

## ▶ 海外事業: 堅調な進捗

PLC・TALともに大きな減益要因はなく順調に推移

### 対通期業績予想の達成状況(国内・海外)

		グループ修正利益	達成率 (対業績予想)	(参考) 前年同期比 <sup>(2)</sup>
グループ連結		1,444億円	42%	+75%
国内事業		1,006億円	43%	+83%
DL	国内株式の売却を前倒しで実施しており売却益が早期に計上されているため進捗は高い。一方で、クレジット資産の積み増しは順調に進んでおり順ぎやも計画比上振れで推移	836億円	39%	+43%
DFL	円安に伴う解約益の増加が利益を押し上げたことに加え、預かり資産の増加もあり、計画比で高い進捗	173億円 出再ブロックを含めた利益貢献額 195億円	69%	-
海外事業		328億円	32%	+34%
PLC	保険金支払いが想定より少なかったことなどが影響し、営業利益は好調に推移。有価証券実現損も想定を下回った	176億円	37%	+418%
TAL	支払い増加に伴い減益となった一方で、投資損益が上振れたことで、通期見通しに対してインライン	112億円	30%	△31%

### 8月初の市場急落の影響について (グループ修正利益通期見通し)

8/5までの大幅株安・円高を織り込んだ場合でも、  
1Qの利益上振れ等もあり、  
**通期見通し3,400億円に変更は生じず**

#### 為替影響: 約90億円減益

- ▶ 1円円高で約10億円減益
- ▶ 3月末→8月5日で、約9円円高

#### 株価影響: 約450億円減益

- ▶ 日経平均1,000円下落につき、約50億円減益
- ▶ 3月末→8月5日で、日経平均約9,000円下落

#### 株ヘッジポジション等<sup>(3)</sup>: 約160億円増益

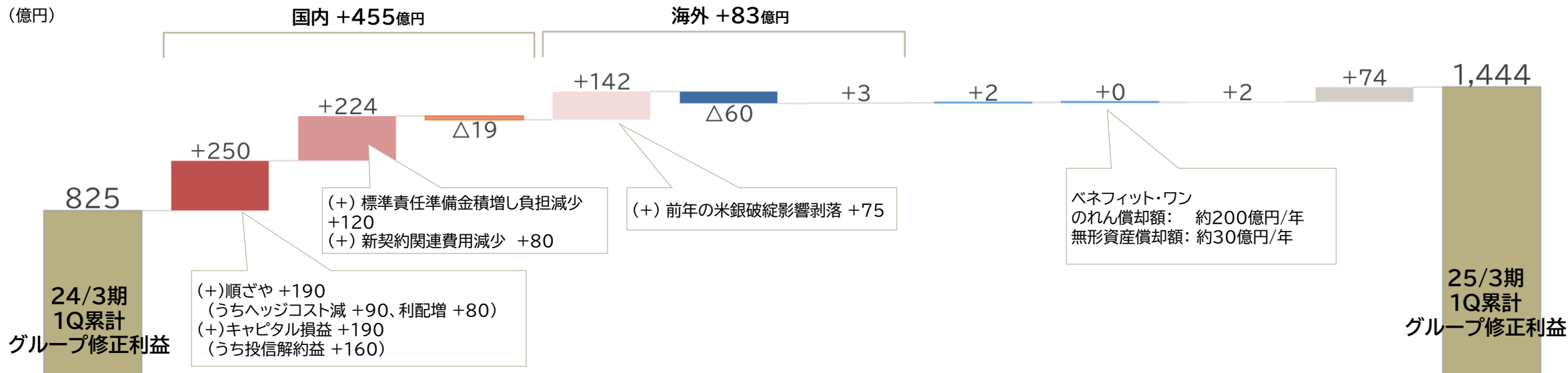
(1) 事業別・各社別の修正利益については、DFL・NFL・TALにおけるグループ内再保険に係る損益等を調整した数値を表示 (2) PLC・TAL・PNZは25/3期より修正利益の基準を変更。前年同期比は旧基準との対比

(3) 8/5時点の評価損益の変動(24/6月末対比)を参考として記載

# 決算のポイント - グループ修正利益(前年同期比増減)

- ▶ グループ修正利益は前年同期比+75%の1,444億円。DLが利配収入の増加やヘッジコスト負担の減少等による順ざやの改善で増益となった他、DFLで新契約コストが減少したことを主因に増益。海外においても、北米(PLC)で前年の米銀破綻の影響が剥落したこと等を要因に増益

## グループ修正利益・前年同期比変動要因



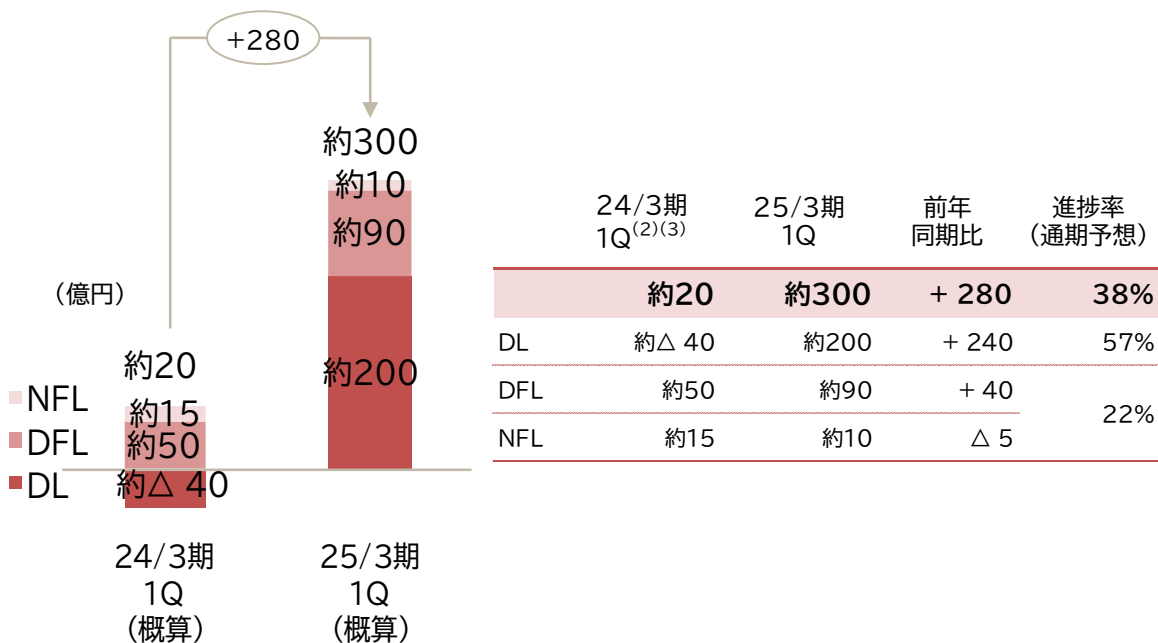
	DL	DFL	NFL/ipet	北米	オセアニア	アジア	非保険事業 (AM)	非保険事業 (ベネフィット・ワン)	DLRe	HD その他	
25/3期 1Q	836	173	△4	176	115	36	11	0	30	71	1,444
24/3期 1Q	585	△51	15	34 <sup>(1)</sup>	176	33	8	-	28	△3	825

(1)後発事象を考慮したグループ修正利益におけるPLCの寄与分。23年3月に破綻したシリコンバレーバンク・シグネチャーバンクの債券、無価値となったクレディ・スイスのAT1債に関するものに加えて、23年5月に破綻したファーストリパブリックバンクの債券等に係る損失を後発事象として反映 (2)PLC・TAL・PNZは25/3期より修正利益の基準を変更。24/3期の修正利益は旧基準

# 決算のポイント – 契約実績(新契約価値[概算値]、新契約・保有契約年換算保険料)

- ▶ 新契約価値は約300億円(国内3社概算)。DLの販売量が新商品投入効果で順調に回復し予算を上回ったことで、通期見通しの4割程度まで進捗
- ▶ 新契約ANPはグループ全体で、前年同期比+49%の1,751億円(為替影響除き +42%)。国内は、新商品販売が好調なDLで活動量増加を背景に販売量が増加。海外は、PLCで定額年金の販売が好調に推移したほか、TALで団体保険の獲得があったことで前年同期を上回り、為替影響除きで前年同期比+149%(為替影響含み +178%)

新契約価値(国内概算値<sup>(1)</sup>)



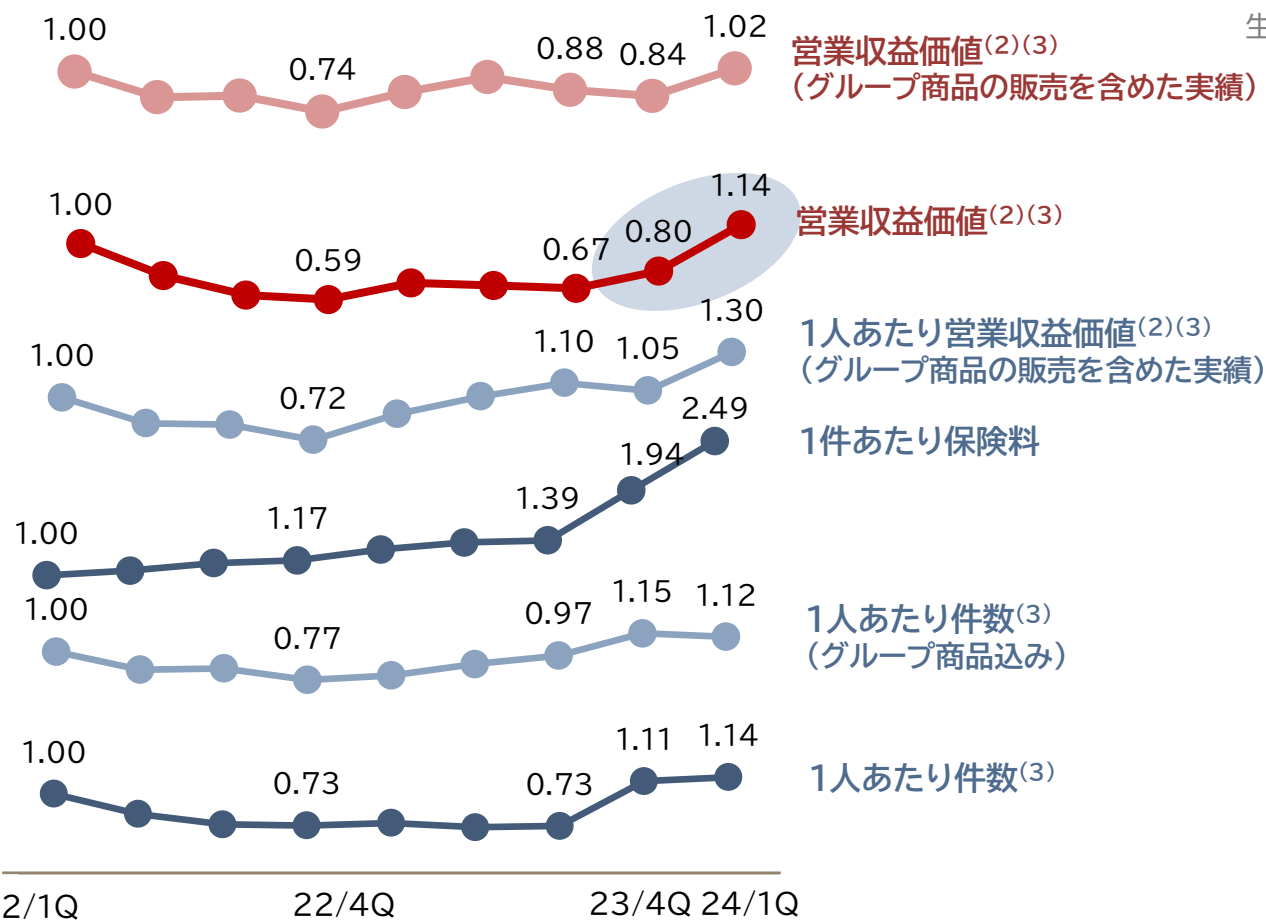
(億円)	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	24/3期 1Q	25/3期 1Q	前年 同期比	24/3末	24/6末	前期末比
<b>国内4社計</b>	<b>910</b>	<b>1,010</b>	<b>+11.0%</b>	<b>32,634</b>	<b>33,270</b>	<b>+1.9%</b> (+0.4%)
DL	110	304	+175.1%	19,494	19,548	+0.3%
うち第三分野	70	89	+27.2%	6,904	6,896	△0.1%
DFL	751	657	△12.5%	11,775	12,368	+5.0%
うちDLチャンネル販売	141	98	△30.0%	1,001	982	△1.9%
NFL	31	31	△2.1%	362	371	+2.5%
うちDLチャンネル販売	20	3	△82.7%	15,474	16,700	+7.9%
ipet	16	16	+1.7%	7,662	8,054	+5.1%
<b>海外6社計</b>	<b>266</b>	<b>741</b>	<b>+178.4%</b> (+148.5%)	<b>6,013</b>	<b>6,754</b>	<b>+12.3%</b> (+3.5%)
PLC	163	291	+78.8%	559	609	+9.1%
うちPLCチャンネル販売	141	98	△30.0%	1,220	1,259	+3.2%
TAL	30	384	+1154.8%	18.1	21.9	+20.6%
うちTALチャンネル販売	20	3	△82.7%	1,220	1,259	△1.3%
PNZ	7	11	+45.2%	18.1	21.9	+13.0%
うちPNZチャンネル販売	7	11	+30.4%	18.1	21.9	+13.0%
DLVN	62	49	△20.7%	18.1	21.9	+20.6%
うちDLVNチャンネル販売	62	49	△25.9%	18.1	21.9	+13.0%
DLKH/DLMM	2.3	4.5	+95.9%	18.1	21.9	+13.0%
うちDLKH/DLMMチャンネル販売	2.3	4.5	+72.9%	18.1	21.9	+13.0%
<b>第一生命グループ計</b>	<b>1,177</b>	<b>1,751</b>	<b>+48.8%</b> (+42.1%)	<b>48,108</b>	<b>49,971</b>	<b>+3.9%</b> (+0.5%)

(1) 計測対象および計測手法について一部簡便的な取扱いを行った概算値  
 (2) 24/3期1Qは旧基準(EEV原則に則った計測基準)ベース  
 (3) 24/3期1Qは2023年9月29日に公表の誤計上を反映した数値

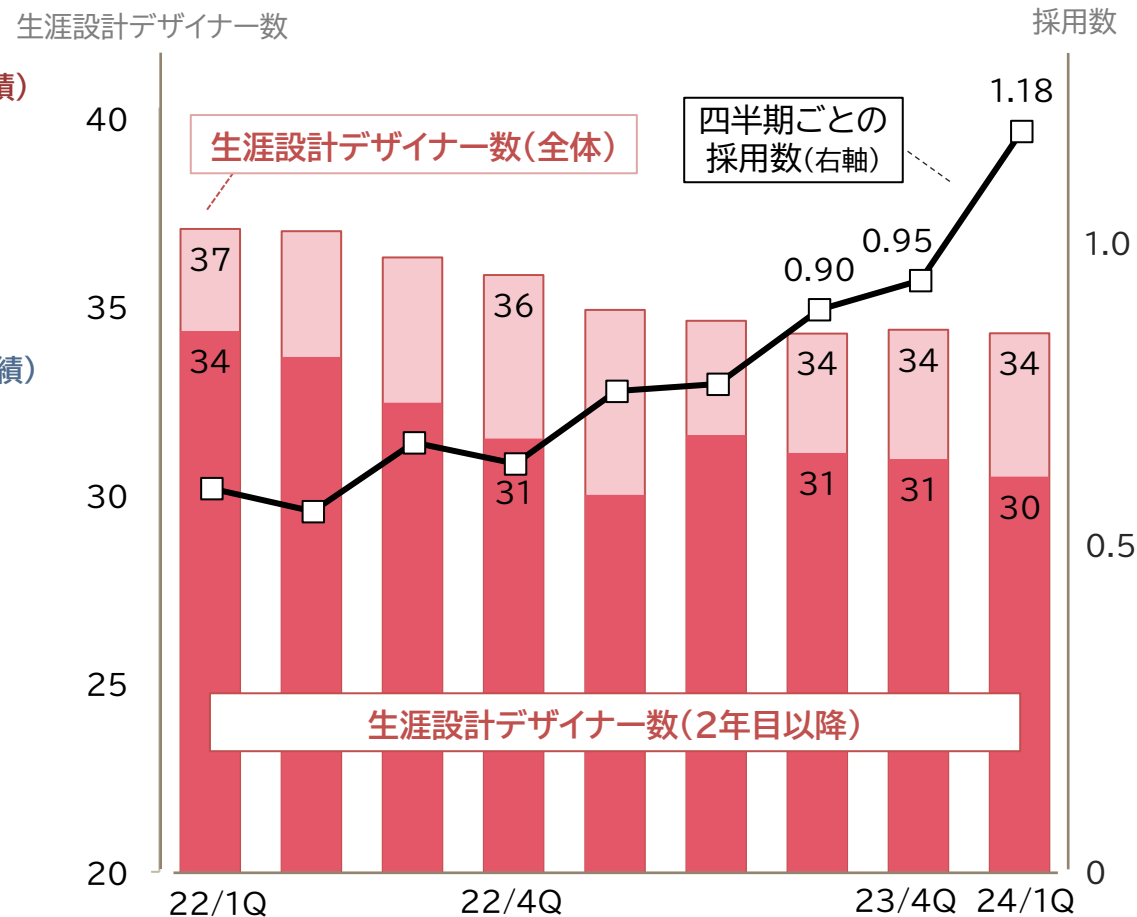
# 決算のポイント – 新契約業績（DL生涯設計デザイナーチャネル）

- ▶ 1月以降の新商品発売の効果で活動量が増加、DL元受の営業収益価値は22/1Qの水準を2年ぶりに超過
- ▶ 生涯設計デザイナーの採用数は着実に増加し、1Qの採用数は四半期1,000人の目標を超過達成

DL営業収益価値の推移(生涯設計デザイナーチャネル)<sup>(1)</sup>



DL生涯設計デザイナー数の推移(千人)



(1)2022年度1Qを1として指数化した数値。(2)営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標。コスト控除前の経済環境の変動要因を除外した数値。24/1Qに算出基準の一部を変更(23/1Qから遡及適用)  
 (3)1年目を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算



# 決算のポイント – 資本充足率(ESR)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業



Dai-ichi Life Holdings

- ▶ 資本充足率(ESR)は、円金利上昇(大量解約リスクの増加)や円安進行等の市場要因変動によるリスク量の増加や株主還元に伴う資本減少等が影響し、前期末比 $\Delta 12\%pt$ の214%

## 資本充足率(ESR) ※概算値

(前期末比)  
 $\Delta 12\%pt$

24/6末

214%

24/3末  
226%

24/6末  
214%

適格資本  
9.6兆円

9.5兆円

約 $\Delta 800$ 億円  
減少

所要資本  
4.2兆円

4.4兆円

約+2,000億円  
増加

## 8月の市場変動の影響について(ESR)

- ▶ 株価下落等に伴い、自己資本・リスク量ともに減少

株価下落や円高による低下要因を、金利低下による大量解約リスクの剥落が一定程度軽減し、ESR下げ幅は一桁%ptに留まったと見込む

日経平均株価 6月末 39,583円 → 8月5日 31,458円  
約8,400円下落(対6月末 $\Delta 20\%$ 減)

## 株式リスク削減(株式売却)について

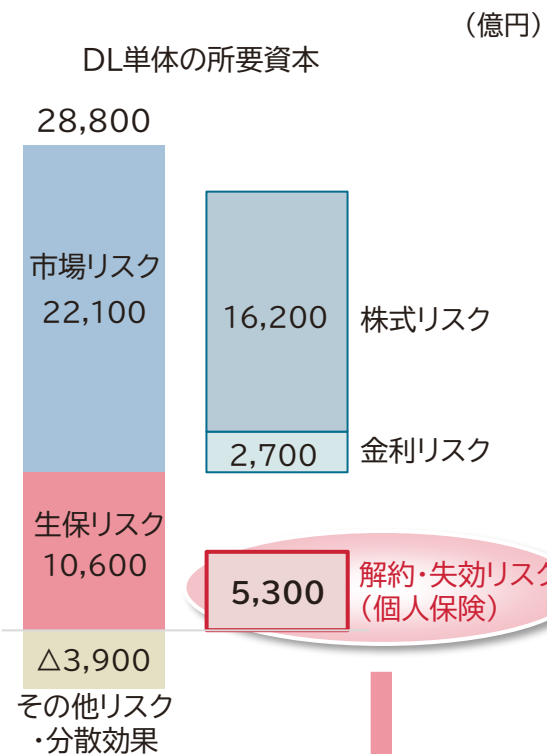
- ▶ 5/29に説明した「次期中計以降のDLにおける国内株式保有残高」について、資本効率・資本コスト、戦略的資産配分の観点で踏まえ、検討を行っており、11月のIR説明会でお示しする予定
- ▶ 3月末時点の金利・株価水準等に基づく2兆円を下回る水準を見据える

# 大量解約リスクについて



- ▶ 24/3末時点でJ-ICS基準に準拠した内部モデルで算出した所要資本(リスク量)計測において大量解約リスクが増加
- ▶ 2025年夏頃に予定されるJ-ICSの基準確定に向けて、当社における大量解約リスクの取扱い(内部モデルのあり方、ヘッジ活用や商品戦略に係るリスクアパタイトの変更の必要性など)に係る検討を進める

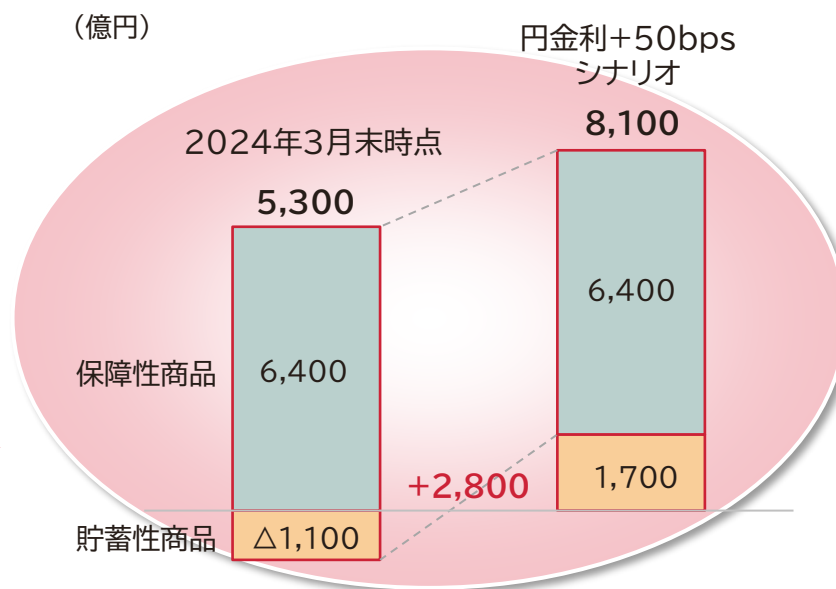
## 2024年3月末時点



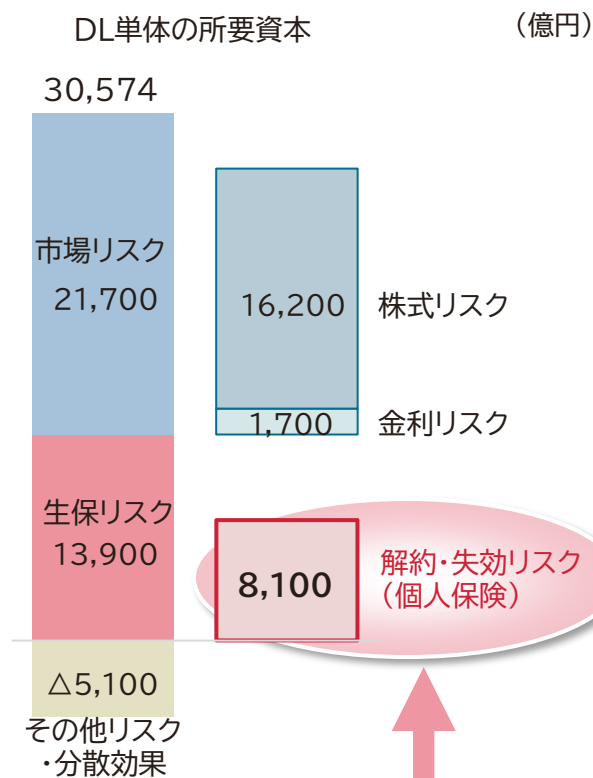
- 金利上昇に伴い、2024年3月末時点では大量解約リスクが拡大  
⇒ 今後引き続き金利が上昇した場合、大量解約リスクがさらに拡大する見込み
- 大量解約リスクは保障性商品が太宗を占める  
⇒ 金利上昇時には、  
保障性商品の大量解約リスクはほぼ変動なし  
貯蓄性商品の大量解約リスクは拡大

## 個人保険の大量解約リスク

(億円)



## 円金利+50bpsシナリオ



# 2025年3月期 通期業績予想



▶ グループ修正利益は、DLの順ざや改善・株式売却前倒し等により、進捗率42%と好調な水準。

(億円)	24/3期 1Q	25/3期 1Q	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	24/3期 通期実績	25/3期 通期予想	前期比	(%)
<b>連結経常収益</b>	<b>30,034</b>	<b>29,952</b>	<b>△ 81</b>	<b>△ 0%</b>	<b>34%</b>	<b>110,281</b>	<b>89,220</b>	<b>△ 21,061</b>	<b>△ 19%</b>
第一生命	10,502	10,520	+ 17	+ 0%	28%	40,870	37,920	△ 2,950	△ 7%
第一フロンティア生命	12,115	12,500	+ 384	+ 3%	37%	43,938	33,990	△ 9,948	△ 23%
米プロテクティブ (百万米ドル) <sup>(1)</sup>	3,508	3,953	+ 444	+ 13%	37%	13,531	10,680	△ 2,851	△ 21%
豪TAL (百万豪ドル) <sup>(1)</sup>	2,363	2,126	△ 237	△ 10%	28%	8,573	7,500	△ 1,073	△ 13%
<b>連結経常利益</b>	<b>1,154</b>	<b>2,084</b>	<b>+ 930</b>	<b>+ 81%</b>	<b>37%</b>	<b>5,390</b>	<b>5,620</b>	<b>+ 229</b>	<b>+ 4%</b>
第一生命	1,043	1,427	+ 384	+ 37%	35%	3,913	4,030	+ 116	+ 3%
第一フロンティア生命	△ 275	117	+ 393	-	26%	210	450	+ 239	+ 114%
米プロテクティブ (百万米ドル) <sup>(1)</sup>	△ 21	169	+ 191	-	45%	137	380	+ 242	+ 176%
豪TAL (百万豪ドル) <sup>(1)</sup>	234	157	△ 77	△ 33%	28%	610	560	△ 50	△ 8%
<b>連結純利益<sup>(2)</sup></b>	<b>673</b>	<b>1,352</b>	<b>+ 679</b>	<b>+ 101%</b>	<b>42%</b>	<b>3,207</b>	<b>3,230</b>	<b>+ 22</b>	<b>+ 1%</b>
第一生命	585	826	+ 240	+ 41%	38%	2,038	2,180	+ 141	+ 7%
第一フロンティア生命	△ 216	70	+ 286	-	25%	156	280	+ 123	+ 79%
米プロテクティブ (百万米ドル) <sup>(1)</sup>	△ 17	137	+ 154	-	44%	116	310	+ 193	+ 167%
豪TAL (百万豪ドル) <sup>(1)</sup>	170	114	△ 55	△ 32%	29%	430	390	△ 40	△ 9%
<b>グループ修正利益<sup>(3)</sup></b>	<b>825</b>	<b>1,444</b>	<b>+ 619</b>	<b>+ 75%</b>	<b>42%</b>	<b>3,193</b>	<b>3,400程度</b>	<b>+ 206</b>	<b>+ 6%</b>
<b>グループ新契約価値<sup>(4)</sup></b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>545</b>	<b>1,050程度</b>	<b>+ 504</b>	<b>+ 93%</b>
					<b>1株あたり配当(円)</b>	<b>113</b>	<b>122</b>	<b>+ 9</b>	<b>+ 8%</b>
<b>(参考)基礎利益</b>	<b>978</b>	<b>1,509</b>	<b>+ 530</b>	<b>+ 54%</b>	<b>28%</b>	<b>5,251</b>	<b>5,300程度</b>	<b>+ 48</b>	<b>+ 1%</b>
第一生命	611	722	+ 111	+ 18%	26%	3,310	2,800程度	△ 510	△ 15%

(1) PLCおよびTALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益

(3) PLC・TAL・PNZの24/3期の修正利益は旧基準 (4) グループ新契約価値は2Q・4Qの開示

本資料の問い合わせ先  
第一生命ホールディングス株式会社  
経営企画ユニット IRグループ

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。